

岩手活動報告 9月、10月 (9月16~19、10月16~18 10月20~23)

更新が遅れていますが、まだ、岩手には通っております。現地でのニーズは、とりあえず落ち着いた生活をどのように居心地の良いものにするか、また、長期的な目標はどこにおくか、というところが変わってきているように感じます。移動販売しかなかった地域に、商店ができたり、何もなかった地域に、軽食屋さん、お弁当屋さんがオープンしたりと、すこしずつ動き出している人たちも見受けられます。そして、お茶っこという活動も、多くの地域で行われるようになり、私のお手伝いしているピースウインズジャパンの活動は、今後、長期的にこの活動を残すためにはどのような働きかけをする必要があるかという点に来ているのではないかと感じています。9月にもなると、以前から通っている同じ仮設住宅に行くと、それぞれの皆さんが、自分なりに形成した生活の姿が垣間見られるようになりました。そして、お茶っこというイベントを企画しなくても、自分たちで、近所の人たちと集まって、おしゃべりして、という光景が異なる仮設住宅で見られ、すこしずつみなさんがコミュニティを形成し、お互いに声を掛け合っているんだな、こうした力でみんなで前に進んでいくんだなということを感じられます。

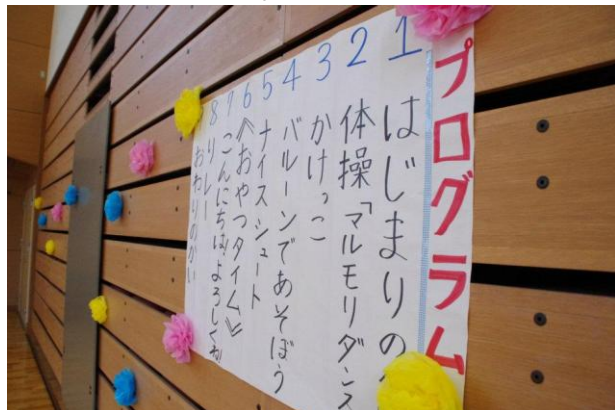
10月はもう岩手も寒くなってきまして、外での活動が制限されるようになってきました。子どもたちの遊ぶスペースがなくなると、大人は心配しているのですが、ある日雨がひどく、外でのイベントを行えなかった地域に行くと、子どもたちは外に出て、傘を差しながら遊んでいるではないですか！やはり子どもは遊びの天才だな、と思う一方で、この子どもたちの有り余ったエネルギーの発散ができる場所を確保することが何より大切だなと再確認させられました。

このように私の活動は直接的でもあり、間接的でもあります。支援とは、直接的な作業をすることだけではなく、たとえばこうして子どもたちの遊び場を確保するための情報収集をする、地域の団体と連携を取る、地域の団体へ活動を伝えていくということが、今後、下半期からの役割になると考え、行動を始めています。

ボランティアは全体的に減っては来ています。しかし、今後生きていくのは現地の方々。その皆さんの生活の回復、心の回復がより円滑に進むような環境づくりも、もしかするともっと大切な支援活動なのではないかと、思っております。

(以下写真 Peace Winds Japan 提供)

運動会のイベント開催をお手伝い



ミニ四駆で他団体と一緒にイベント開催



某企業の力を借りて、化学実験遊び！スライムづくり→